

(p. 16 変更前)

表 1-10 東京都資源循環・廃棄物処理計画

項目	概要
計画期間	平成28（2016）年度～令和2（2020）年度 また、2050年を見据えた2030年のビジョンを示す
目指すべき姿	「持続可能な資源利用への転換」と 「良好な都市環境の次世代への継承」
計画目標	1 資源ロスの削減 2 「持続可能な調達」の普及 3 循環的利用の推進と最終処分量の低減 4 適正かつ効率的な処理の推進 5 災害廃棄物の処理体制
主要な施策	1 食品ロスの削減 2 エコマテリアルの利用と持続可能な調達の普及の促進 3 廃棄物の循環的利用の更なる促進（高度化・効率化） 4 廃棄物の適正処理と排出者のマナー向上 5 健全で信頼される静脈ビジネスの発展 6 災害廃棄物対策

(p. 16 変更後)

表 1-10 東京都資源循環・廃棄物処理計画

項目	概要
計画期間	令和3（2021）年度～令和7（2025）年度 また、2050年を見据え、2030年のビジョンを示す
三本の柱	1 持続可能な資源利用の実現 2 廃棄物処理システムのレベルアップ 3 社会的課題への果敢なチャレンジ
主要な施策	1 資源ロスの更なる削減 2 廃棄物の循環利用の更なる促進 3 廃棄物処理システムの強化 4 健全で信頼される静脈ビジネスの発展 5 社会的な課題への的確な対応

【コラム：焼却残さの資源化】

○エコセメントとは…

焼却残さ等を主原料としたセメントのことです。普通のセメントとほぼ同等の品質を持っており、インターロッキングブロックや歩車道境界ブロック等に使われています。

柳泉園組合が焼却残さを搬入している東京たま広域資源循環組合では、従来二ツ塚処分場に焼却残さを埋め立てていましたが、リサイクルの推進や最終処分場の延命化、安全な埋立を実現するために、平成18年7月に、自治体では日本初となるエコセメント化施設を整備しました。



エコセメント化施設の整備以降、本市の焼却残さは全量がエコセメント化により資源化されています。

(p. 101 変更前)

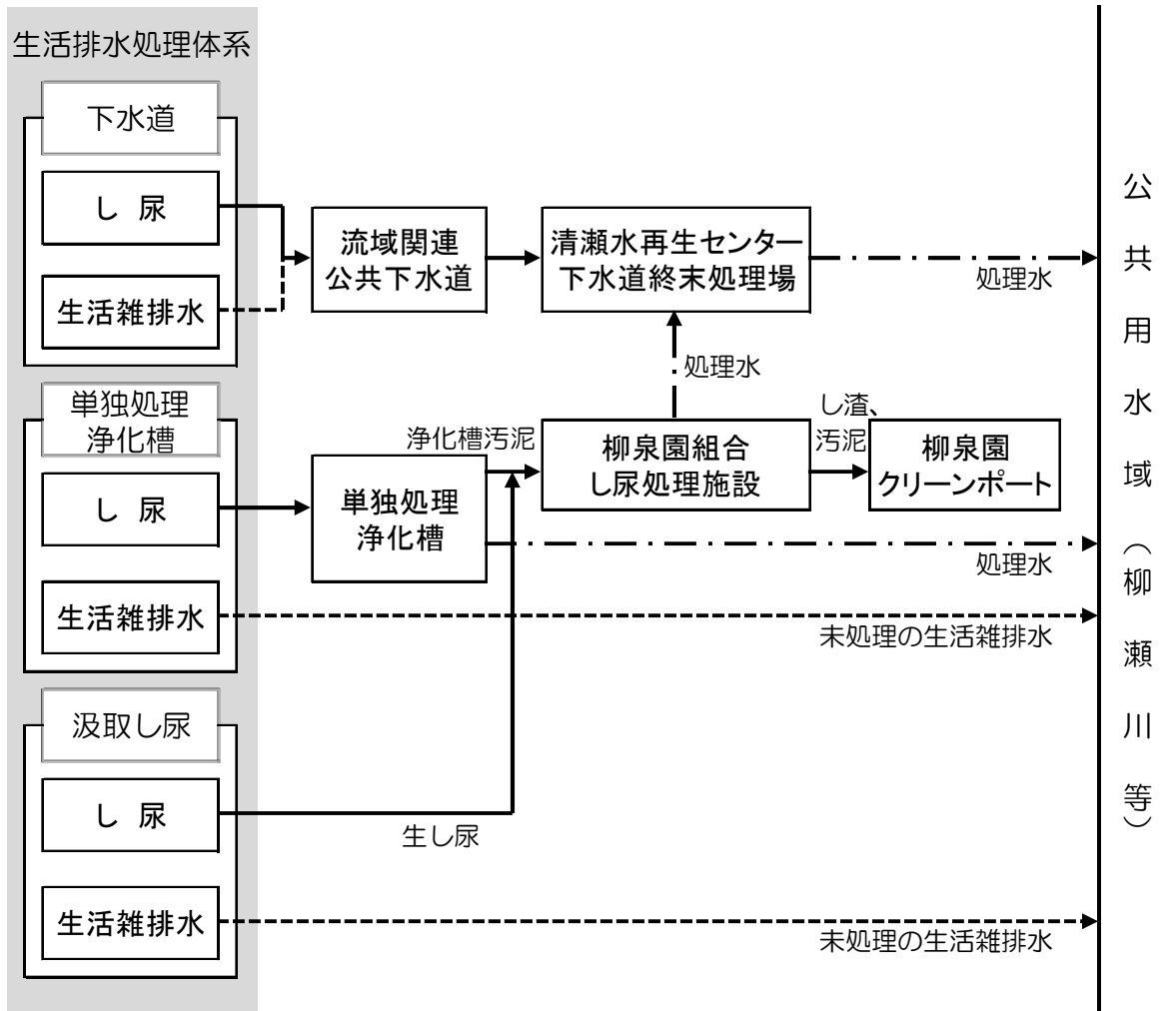


図 2 - 1 生活排水処理の体系

(p. 101 変更後)

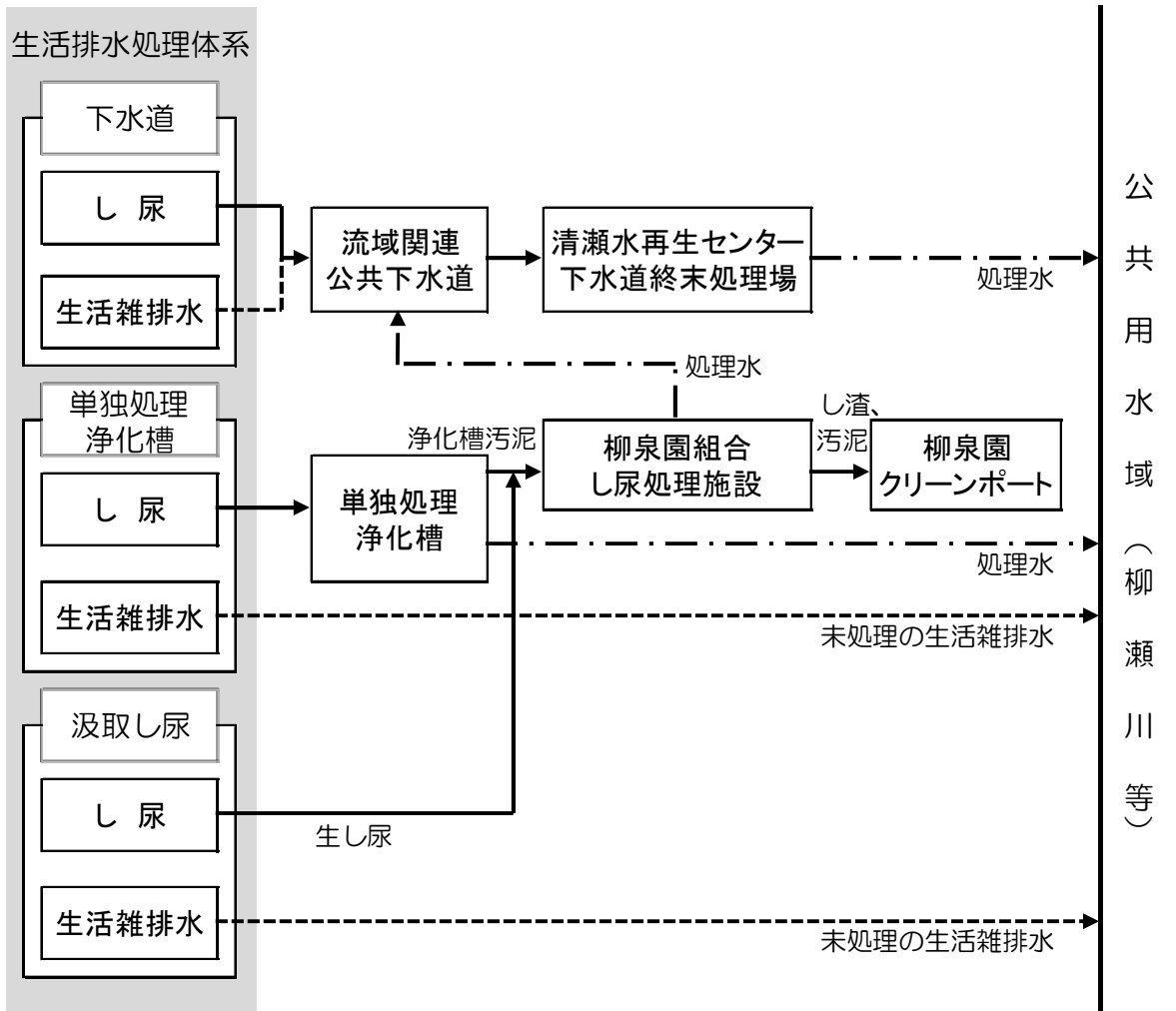


図 2 - 1 生活排水処理の体系